

令和7年10月22日



相談室からのお手紙（10月号）

愛媛県立松山中央高等学校

こんにちは。朝夕に秋の気配を感じるようになりましたね。

先日、私はある中学校のジョブチャレンジ「人と仕事に出会う会」に参加してきました。「家族と学校の先生以外の大人と話すことがほとんどない」「大人ともっと話してみたい」という中学生の声から企画された試みだそうです。この試みはキャリア教育の一つで、子どもたちが「生き方を学ぶ」「生き抜く力を育む」ためのプログラム。学校では先にマナー教室があり、この会の後には職場体験が計画されています。今回は地域から参加した35名ほどの大人と中学2年生の250名が数人ずつのグループになり、大人それぞれの仕事の話はせずに、コーディネーターさんの用意してくださった、いくつかのお題に沿って「おしゃべりをする」という感じでした。

私が出会った生徒さんたちは、元気いっぱい話す子もいれば、知らない人と急には話し慣れなくて恥ずかしそうにしている子もいました。けれど、一人一人が自分の考えを自分の言葉で伝えようとする姿にはとても好感が持て、「私はこう思う。その理由は、こうだから」と誠実にしっかり答えようとしていて感心しました。また、周りの友人たちに対するお互いの心配りの様子を見ていると、生徒さんたちの2年後、5年後、10年後をととても楽しみに思いました。

大人や先輩など誰かと出会うことで、新しい価値観、人生や人間関係に対するヒントやアイデアを学べることは多々あります。皆さんのような10代の人たちが大人になっていくのを、いろんな立場から社会の人たちが応援してくれています。今、高校生である皆さんも、たくさんの人と出会ってほしいなと思いました。

スクールカウンセラー 岡本 綾

★スクールカウンセラー来校予定日（13：30～17：30）

10月 23日（木）・28日（火）・30日（木）

11月 4日（火）・6日（木）・11日（火）・13日（木）

20日（木）・25日（火）

「ポスター」

10月も中旬を過ぎ、ようやく夏服から合服に衣替えをした生徒の姿を校内で見かけるようになった。今年の夏の暑さと長さは、格別であった。三重大大学の研究によると、日本の「夏の期間」が1982年から2023年の42年間で約3週間長くなったそうだ。「冬の期間」はほぼ変わらず、春と秋が短くなり「二季化」しているそうだ。今年は梅雨明けが早かったこともあり、長い夏がやっと終わりを告げている。過ごしやすい気温の秋を楽しみ、長くなった夜の時間を有意義に過ごしたいものだ。

さて、校内には様々な掲示物があるが、私のお気に入りのポスターについて今月は書いてみたい。それは、坂村真民記念館の企画展「真民さんのまなざし」（2025年10月11日～2026年3月1日）を紹介しているもので、タンポポや真民さんの写真が並べられている。真民さんが三人姉妹の子どもたちと写った写真が私のお気に入りである。私が小学校3・4年の頃、担任をいただいたT先生は、父親が真民さんであることを話してくれて、私の心のどこかにそのお話は記憶されていた。ポスターの中の三姉妹の一人は、紛れもなく小学校時代のT先生である。T先生のことが大好きだった私は、友人と先生の車を朝、出迎えに行ったりしていた。真民さんの娘であったT先生の授業を受けられた私はとても幸運だったと思う。たくさんの恩師に恵まれて教職を選んだ私がいるとこの年になって改めて感じるが、T先生もその一人である。高校2年生になったときには、T先生の娘、真民さんの孫であるMさんと同じクラスになった。

学校の階段を忙しく上り下りしながら、ポスターが目に入る。そして、T先生はお元気にされているだろうかとふと先生が懐かしくなる。私の記憶の中の先生のほぼ笑みのままで、ポスターの中から応援してくれているようだ。慌ただしく過ぎる時間の中で、坂村真民さんの詩のフレーズが心を癒してくれる。「二度とない人生だから」「念ずれば花ひらく」などなど。進路の目標に向かって、受験勉強に勤しむ生徒と共に歩みながら、出会いに感謝し、しばらくの間、そのポスターが掲示されていることを祈っている。